



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

第3回国連防災世界会議  
2015.3.14-18  
in 仙台

アジア防災センターも参加いたします！

Vol. 262  
January  
2015

## トピックス

### 謹賀新年

センター長 濱田政則

### メンバー国との防災協力推進

『2014年度ADRC防災政策ピアレビュー』

『中米向け人材育成事業「IRP復興ワークショップ」の実施及び復興プロセスに係る政府間協議』

### Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2015



# 謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

本年3月にセンター長を拝命して以来、私自身としては、メンバー国であるインドネシアを訪問し、同国の防災力向上のための話し合いをさせていただく機会を得ました。今後とも積極的にアジア地域の防災協力に貢献したいと考えております。

さて、今年も世界的には、災害が頻発した一年でした。アジア地域では、インド、ネパール、パキスタン及びスリランカにおける地滑り、中国における地震並びにフィリピンにおける台風など、多くの国々が自然災害に見舞われました。日本国内においては、2月の関東・甲信の豪雪、8月に広島で発生した豪雨による地滑り被害、9月の御嶽山噴火及び11月に長野県北部を中心として発生した地震被害など、多様な災害被害を受けた年となりました。

一方、2005年の第2回国連防災世界会議において策定された兵庫行動枠組み以降、この10年間、アジア各国においては防災に関するさまざまな取り組みが実施され、防災能力の向上が図られてきました。今後の自然災害から生命や財産を守るべく、より積極的な防災対策が求められています。今年2015年は、3月に仙台で開催される第3回国連防災世界会議において、次期兵庫行動枠組み（Post-HFA）が発表される予定で、防災分野における更なる展開が期待されます。

アジア防災センター（ADRC）としましても、アジア各国の人々の安全・安心の推進のため、Post-HFAの指針を踏まえて、職員一同取り組んでまいりますので、本年もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アジア防災センター センター長 濱田 政則

### ●メンバー国との防災協力推進

#### 2014年度 ADRC防災政策ピアレビュー

メンバー国の能力向上及びメンバー国間での情報共有・関係強化を目指し、ADRCは2009年度から防災政策ピアレビュー事業を実施しています。6年目となった本年度はブータンを対象国のひとつとし、同国からのカンントリーレポートの提出後、評価チーム（ピアレビューアー）が現地に入り、聞き取り調査等を行いました。

## 続き

今回のブータンにおけるレビューのテーマは文化遺産と減災の融合（ダガナ城塞における防災力強化訓練プログラム）で、ADRC職員1名の他、アジア各国におけるコミュニティ防災の推進等に携わるNPO法人SEEDS Asiaの事務局長、中川裕子氏がレビューアーとして参加しました。

評価チームは、防災に関する研究や事業などを行っている内務文化省防災局や訓練プログラムを実施したダガナの城塞などを訪問し、各機関の取組みについて聞き取り調査を行うとともに、現場を視察することで、「初めて実施された今回の訓練が僧侶等の城塞関係者の防災意識や知識、実践力の向上につながった」「防災局と地元の消防等関係機関の友好的な関係が事業実施を円滑に進めた」「関係者が防災の必要性を良く理解し、事業継続についての意欲が高い」などの評価と「将来的に火災だけではなく、地震などのマルチハザードに対応した訓練の実施」「学校やコミュニティと連携した防災訓練の実施」などを今後想定すべきといった提言に関する調査結果案をとりまとめました。また、現地ではワークショップを開催し、防災におけるコミュニティの関わりや学校教育の重要性を紹介し、今後のさらなる防災力の向上について、現地関係者と情報共有や協議を行いました。

今後は、評価チームが調査報告書をまとめ、対象国へ送付するとともに、ADRCメンバー国内でブータンからの最終事業報告書を共有する予定です。

最後に、本事業にご協力くださいました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。



## ADRCとの共同による中米向け人材育成事業「IRP復興ワークショップ」の実施及び復興プロセスに係る政府間協議を開催

ADRCは、国際復興支援プラットフォーム(IRP)と協力しながら、各国政府等からの要請に基づいて、人材育成事業を展開しています。今回、中米各国が加盟する中米防災センター

(CEPRENAC)からの要請により、国連国際防災戦略事務局(UNISDR)、国連開発計画(UNDP)の協力も得ながら、首都サンサルバドルにおいて人材育成事業「IRP復興ワークショップ」ならびに復興プロセスに係る政府間協議を開催しました。

ワークショップには、エルサルバドル、パラグアイ、ホンジュラス、グアテマラ等の中米各国の政府職員や、世界銀行やスイス開発委員会、UNISDRの代表など40名以上が参加しました。政府高官も多数参加し、開会式にはエルサルバドルのオスカー・オーティズ副大統領も出席され、開会挨拶をいただきました。

分野別セッションでは、IRPが世界各国の復興事例を取りまとめた「復興ガイダンスノート」等をもとに、アジアをはじめとする復興の経験や教訓を紹介、地域間協力の重要性など、IRPやADRCがこれまで蓄積してきた知見を共有するとともに、2015年に終期を迎える国際防災枠組「兵庫行動枠組」(HFA)の後継枠組に向けた意見交換も行いました。

議論の中では、今後、各国または地域でどのように復興枠組や復興計画を検討していくか、防災の主流化にいかに取り組んでいくか等について積極的な意見交換が行われ、また、もっと優良

## 続き

事例や復興の教訓などを発信し、このワークショップの成果を他の国や地域と共有すべきであるとの提案もありました。

また、「兵庫行動枠組」の後継枠組では、復興の重要性を明確に位置づけるべきであるとの共通理解も生まれ、第3回国連防災世界会議（2015年3月、仙台）で採択される新しい行動枠組に反映されることが期待されます。

この件についての問合せは、IRPの河内 ([kouchi@recoveryplatform.org](mailto:kouchi@recoveryplatform.org))までお願いします。



### 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は [editor@adrc.asia](mailto:editor@adrc.asia) までEメールをお寄せください。